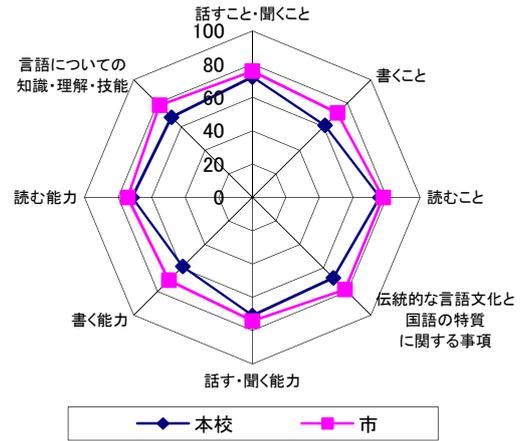


# 宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	72.3	75.9	71.7
	書くこと	61.2	71.8	73.2
	読むこと	76.0	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.3	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	70.9	74.2	70.8
	書く能力	58.7	70.4	71.0
	読む能力	71.7	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	68.1	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

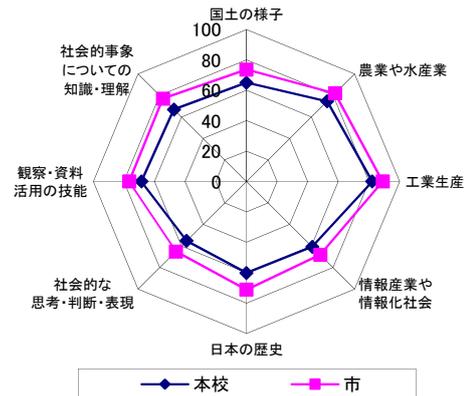
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、市の平均正答率をやや下回っている。</p> <p>○話し手の意図や工夫を考えながら、話し合いの内容を聞くことは正答率が高い。</p> <p>●司会者の役割を理解して、話し合いのテーマに合うように司会者の発言を考える問題は正答率が低く、テーマに合わせて計画的に話し合うことに課題が見られる。</p>	<p>・国語の授業だけでなく、他教科や学級活動などにおいて、メモを取りながら聞いたり聞いたことを要約したりする活動や、話し手の意図を考えた上で自分の意見を伝える活動を多く取り入れていきたい。また、朝の会などにスピーチメモを書いてスピーチする活動を行い、話す力を伸ばしていきたい。</p>
書くこと	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>●与えられた情報を読み取り、話し合いの内容をふまえて必要な情報を書き足すことや、グラフから読み取った事実をもとに自分の意見を書くことは正答率が低い。また、2段落構成で文章を書くことも正答率が低く、自分の考えをまとめ、構成を考えて書き表すことに課題が見られる。</p>	<p>・構成メモなどのワークシートの工夫を行い、話や文章の内容をまとめたり、自分の考えを文章に書いたりする活動を多く行ってきたが、より時間をかけてじっくりと取り組ませるとともに、指定された長さや段落構成で文章を書く機会を増やして、表現をよりよくする方法を身に付けさせたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は市の平均正答率をやや下回っているが、他の領域より高い。</p> <p>○物語の登場人物の心情を読み取ったり、説明文の内容を的確に読み取ったりすることは正答率が高い。</p> <p>●段落相互の関係の読み取りは、正答率が市の平均値より低い。</p>	<p>・説明文においても、学校で取り組んでいる音読活動で多く読み込みを行うとともに、段落の要点をていねいに確認していくことで、段落相互の関係についてしっかりと考えさせていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>○漢字の読みについては正答率が高い。</p> <p>●漢字の書きについては、問題によっては正解できてはいるものの、課題が見られる。また、尊敬語や謙譲語の使い方は正答率が低く、敬語の使い方に課題が見られる。</p>	<p>・新出漢字の学習では漢字や熟語の意味も合わせて指導し、意味のある文字としての理解を深めるとともに、漢字練習やミニテストなどの学習を繰り返し行い、漢字の定着を図りたい。</p> <p>・敬語の使い方については、復習の時間を設けるとともに、保護者にも協力を依頼し、日常から使うことができるよう指導していきたい。</p>

# 宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

	本年度			
	本校	市	参考値	
領域別	国土の様子	65.0	73.6	76.2
	農業や水産業	74.6	81.9	77.5
	工業生産	82.1	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	60.7	68.2	61.0
	日本の歴史	60.1	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	55.3	65.1	62.1
	観察・資料活用 of 技能	68.6	76.5	75.2
	社会的な事象についての知識・理解	66.9	77.1	76.5



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

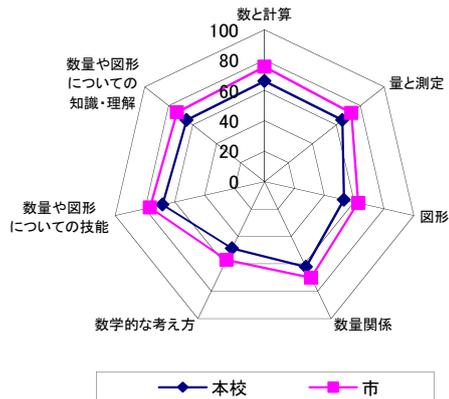
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。 ●日本の周辺の海洋名や主な国の名称と位置については正答率が低い。また、日本の地形の概要についての理解をもとに資料を読み取ることも課題が見られる。	・地図帳や資料集を活用し、地図や資料の見方を指導していく。また、国の名称や海洋名など基本知識については、ドリル演習などができるようなワークシートを作成するなど指導の工夫を図りたい。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。 ○日本の主な食料生産物の分布や米づくりを行う人々の工夫や努力に関する資料の読み取りでは、市の正答率をやや下回るものの正答率が高い。 ●牛肉の消費量と生産量を表すグラフから、食料を輸入していることを考える問題で正答率が低く、思考・判断で課題が見られる。	・資料から読み取れることをもとに様々な視点から物事を考えられるよう、児童への質問の内容やワークシートなどの工夫を図っていきたい。
工業生産	平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。 ○様々な工業製品から機械工業の製品を選ぶ問題は正答率が高く、工業生産についての理解が見られる。 ●環境保全への取組について資料を読み取り表現する問題では正答率が低く、思考・判断・表現で課題が見られる。	・資料をもとに考察したことを文章で表すなど、他教科の学習とも重ね合わせて、自分の考えをまとめる活動を多く取り入れていきたい。
情報産業や情報化社会	平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。 ●新聞、テレビの役割や責任の大きさについて考える問題で正答率が低く、思考・判断で課題が見られる。	・学級活動や道徳、他教科の学習とも関連させ、新聞、テレビ、インターネットなど様々な情報産業の特徴やそれらの情報の利用の仕方について考える機会を多く取り入れ、指導に努めていきたい。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。 ○元との戦いに関する資料や織田信長の働きに関する資料を読み取る問題については正答率が高い。 ●複数の資料から共通点や相違点を読み取り、特徴などを考える問題の正答率が低く、思考・判断・表現に課題が見られる。	・デジタル教材や図書資料などを用いて資料の読み取りをさらに深め、歴史的事象の知識の定着を図るとともに、歴史新聞づくりなど資料から考えられることをまとめ、表現する活動を多く取り入れていきたい。

# 宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

	本年度			
	本校	市	参考値	
領域別	数と計算	66.1	75.6	75.8
	量と測定	65.0	72.5	71.2
	図形	53.2	62.8	71.0
	数量関係	62.3	70.1	66.0
観点別	数学的な考え方	48.7	57.2	52.7
	数量や図形についての技能	68.2	76.7	74.1
	数量や図形についての知識・理解	65.1	73.0	77.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

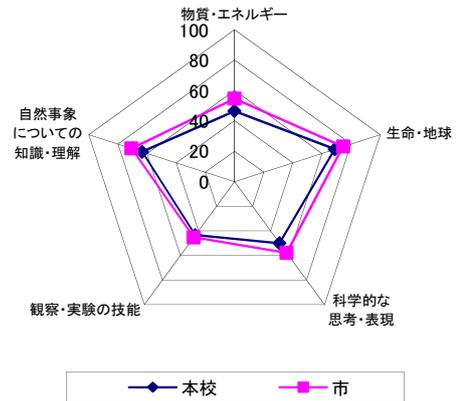
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は市の平均正答率を下回っているが、他の領域より高い。</p> <p>○分数のかけ算、わり算の正答率が高い。</p> <p>●小数のかけ算、わり算の正答率が低く、小数の計算に課題が見られる。また、文章問題に合う図と式を選ぶ問題において、図は正しいが式を誤っている回答が多く、図を用いて数量の関係を考えることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算の定着に向けた繰り返し練習を継続的に行い、小数の計算の定着を図りたい。</li> <li>図を用いて考えたり説明したりする力を育てるため、数量の関係を図で表す活動や図を読み取って式をつくる活動を積極的に取り入れていきたい。</li> </ul>
量と測定	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>○時速を求める式や円柱の体積を求める式を選ぶ問題において正答率が高い。</p> <p>●単位換算のある、速さと時間から道のりを求める問題において正答率が低く、単位量当たりの大きさに課題が見られる。また、高さが外にある三角形の面積や台形の面積を求める問題において正答率が低く、図形の面積の求め方に課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速さや図形の面積の公式については、関連する単元の学習をする中で復習して確かめるとともに、反復練習でも多く活用し、定着を図りたい。</li> </ul>
図形	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>○合同な三角形の作図もは正答率が高い。</p> <p>●点対称な図形を選ぶ問題は正答率が市をやや上回っているが、線対称な図形を選ぶ問題は正答率が低く、対称な図形の理解に課題が見られる。また、円の直径から円周を求める式や七角形の内角の和を求める式を選ぶ問題の正答率が低く、図形の基本的な知識理解とその活用に課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質など基本的な事項については、関連する単元以外においても折に触れて確認させるとともに、活用する力を育てるため、ペア学習やグループ学習など、考え方を友達に説明し学び合う活動を多く取り入れていきたい。</li> </ul>
数量関係	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>○帯グラフから割合を読み取る問題は正答率が高い。</p> <p>●文字を使って2つの数量の関係を式に表したり、一方の文字の値から他方の文字の値を求めたりする問題の正答率が低く、文字を使った立式や計算に課題が見られる。また、比を使って量を求める問題やその求め方を説明する問題の正答率が低く、割合や比における数量の考え方について課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を使った式については、復習の中で文字の式の高さや今後の学習での必要性を伝えるとともに、様々な単元の中で活用していくことで定着を図りたい。</li> <li>割合と比については、ワークシートの工夫やヒントカードの準備を行うとともに、少人数指導を通して考え方の理解を深めていきたい。</li> </ul>

# 宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

	本年度			
	本校	市	参考値	
領域別	物質・エネルギー	46.3	54.6	57.5
	生命・地球	68.9	74.5	75.4
観点別	科学的な思考・表現	50.1	58.0	59.6
	観察・実験の技能	43.5	45.3	50.6
	自然事象についての知識・理解	63.5	70.7	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均正答率を下回っている。</p> <p>●ふりこの実験の比較の仕方やふりこが1往復する時間を短くする方法を考える問題は正答率が低く、おもりの重さ、糸の長さやふり幅との関係についての理解や考え方に課題がある。また、電磁石のはたらきを大きくする乾電池のつなぎ方の問題は正答率が低く、電流の流れと電磁石についての理解や考え方に課題がある。</p>	<p>・実験のデータの取り方やデータの処理の仕方について十分に指導し、授業や単元のまとめでしっかりと考察をして知識の定着を図る。</p> <p>・経験したことをもとに、実験方法を考えたり考察したりする機会を増やす。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は市の平均正答率を下回っているが、他の領域より高い。</p> <p>○魚のたんじょうに関する問題は正答率が高い。また、見える月の形から太陽と月と地球の位置の関係を考える問題では正答率が高い。</p> <p>●光合成についての対照実験の結果からわかることを説明する問題は正答率が低く、植物のつくりとはたらきについての思考・表現に課題がある。</p>	<p>・実験や観察が難しい学習内容については、模型や映像資料を使ってイメージしやすくし、授業や単元のまとめでしっかりと考察をして定着を図っていきたい。</p> <p>・日常生活の中で、「なぜ」「どうして」という疑問をもつ機会や物事の事象がおこる理由を考える機会を増やし、授業に生かしていくようにする。</p>